

菊池市公告第 1 1 5 号

財政白書

熊本県菊池市

平成22年 11 月発行

目 次

1. 公表のことば	1
2. 平成22年度予算執行状況	
平成22年度 会計別予算状況	3
平成22年度 一般会計歳入予算款別内訳表	4
平成22年度 一般会計歳出予算款別内訳表	5
平成22年度 一般会計予算性質別内訳	6
平成22年度 一般会計予算の執行状況	7・8
平成22年度 税の徴収状況	9
平成22年度 特別会計収支状況	10
地方債現在高調べ	11
平成22年度 一時借入金に関する調べ	11
3. 市有財産の状況	
(1) 土地及び建物	12
(2) 物 権	12
(3) 有価証券	12
(4) 基 金	12
(5) 出資による権利	13
(6) 物 品	13
4. 住民の負担状況	14
5. 平成21年度決算状況	
平成21年度 一般会計決算の概況	15～17
平成21年度 各会計別決算状況	18
平成21年度 一般会計決算状況	19
平成21年度 一般会計性質別決算状況	20・21
平成21年度 一般会計による主な投資的経費の内訳	22・23
平成21年度 事業に対する起債額調べ	24
平成21年度 決算カード	25
6. 財政用語解説	26～29

1. 公表のことば

地方自治法第243条の3第1項及び菊池市財政事情の公表に関する条例（平成17年菊池市条例第52号）の規定により、菊池市の財政事情を公表します。

「財政白書」は、市民の皆様に市財政の現況をお知らせすることによって、市財政の実態と市の主要施策についてご理解を得るため、毎年2回定期的に公表しているものであります。

今回は平成22年9月30日現在における平成22年度予算の事業執行状況並びに平成21年度の菊池市歳入歳出決算の内容をお知らせしまして、皆さんの税金がどのように支出されているか、またどのような事業に使う予定であるかを公表します。

平成22年11月1日

菊池市長 福村 三男

2. 平成22年度予算執行状況

平成22年度 会計別予算状況（繰越分を含む）

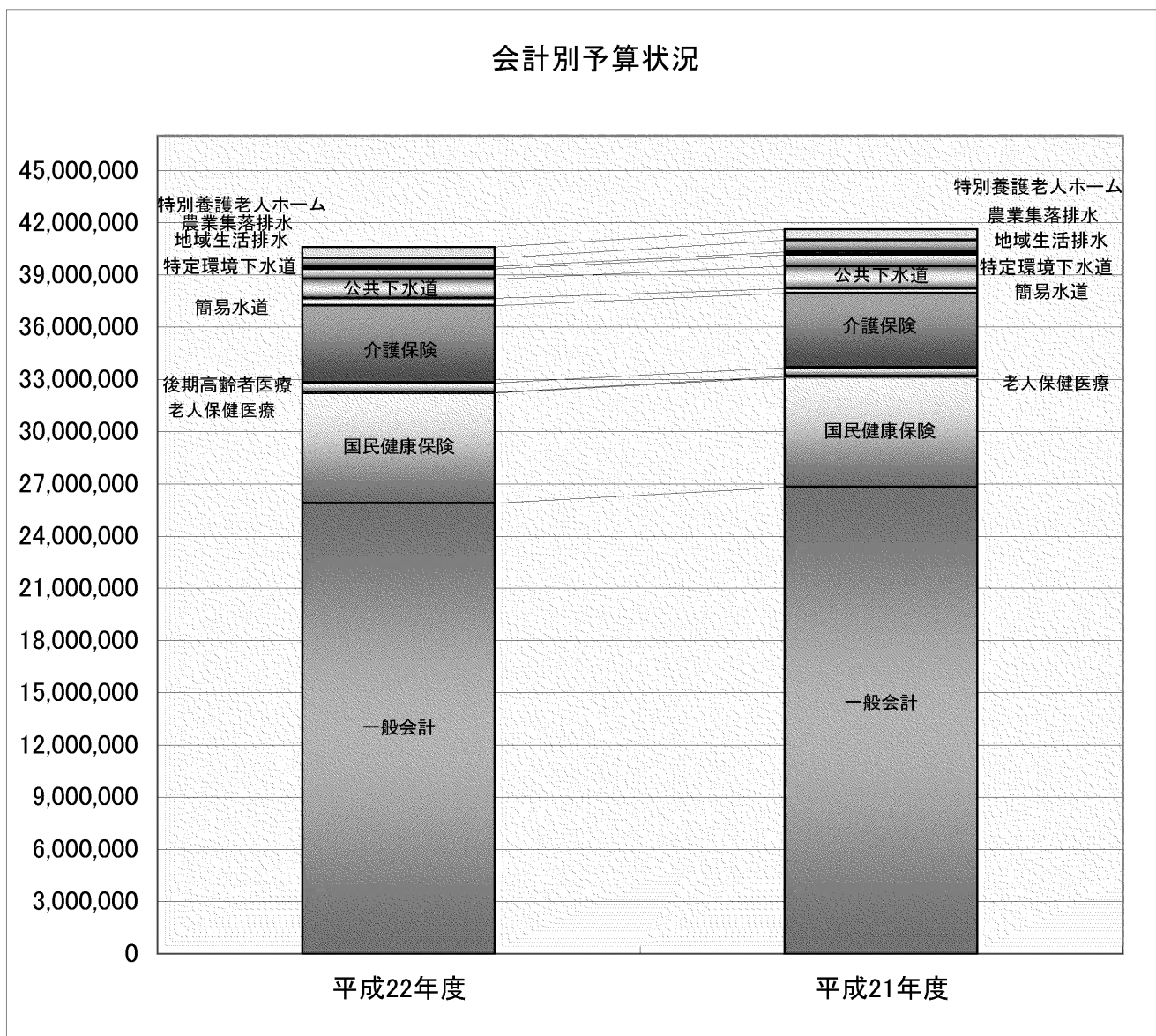
平成22年9月30日現在

◎ 会計別予算

(単位:千円)

	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	比較	伸率
一般会計	25,886,129	63.7	26,816,015	64.4	△ 929,886	△ 3.47
国民健康保険	6,328,595	15.6	6,319,969	15.2	8,626	0.1
老人保健医療	23,429	0.1	51,303	0.1	△ 27,874	△ 54.3
後期高齢者医療	550,830	1.4	487,313	1.2	63,517	13.0
介護保険	4,461,482	11.0	4,272,914	10.3	188,568	4.4
簡易水道	412,646	1.0	279,070	0.7	133,576	47.9
公共下水道	1,117,262	2.8	1,280,107	3.1	△ 162,845	△ 12.7
特定環境下水道	559,775	1.4	662,822	1.6	△ 103,047	△ 15.5
地域生活排水	142,041	0.3	139,122	0.3	2,919	2.1
農業集落排水	491,819	1.2	686,423	1.6	△ 194,604	△ 28.4
特別養護老人ホーム	652,676	1.6	618,478	1.4	34,198	5.5
計	40,626,684	100.0	41,613,536	100.0	△ 986,852	△ 2.4

会計別予算状況



平成22年度 一般会計歳入予算款別内訳表（繰越分を含む）

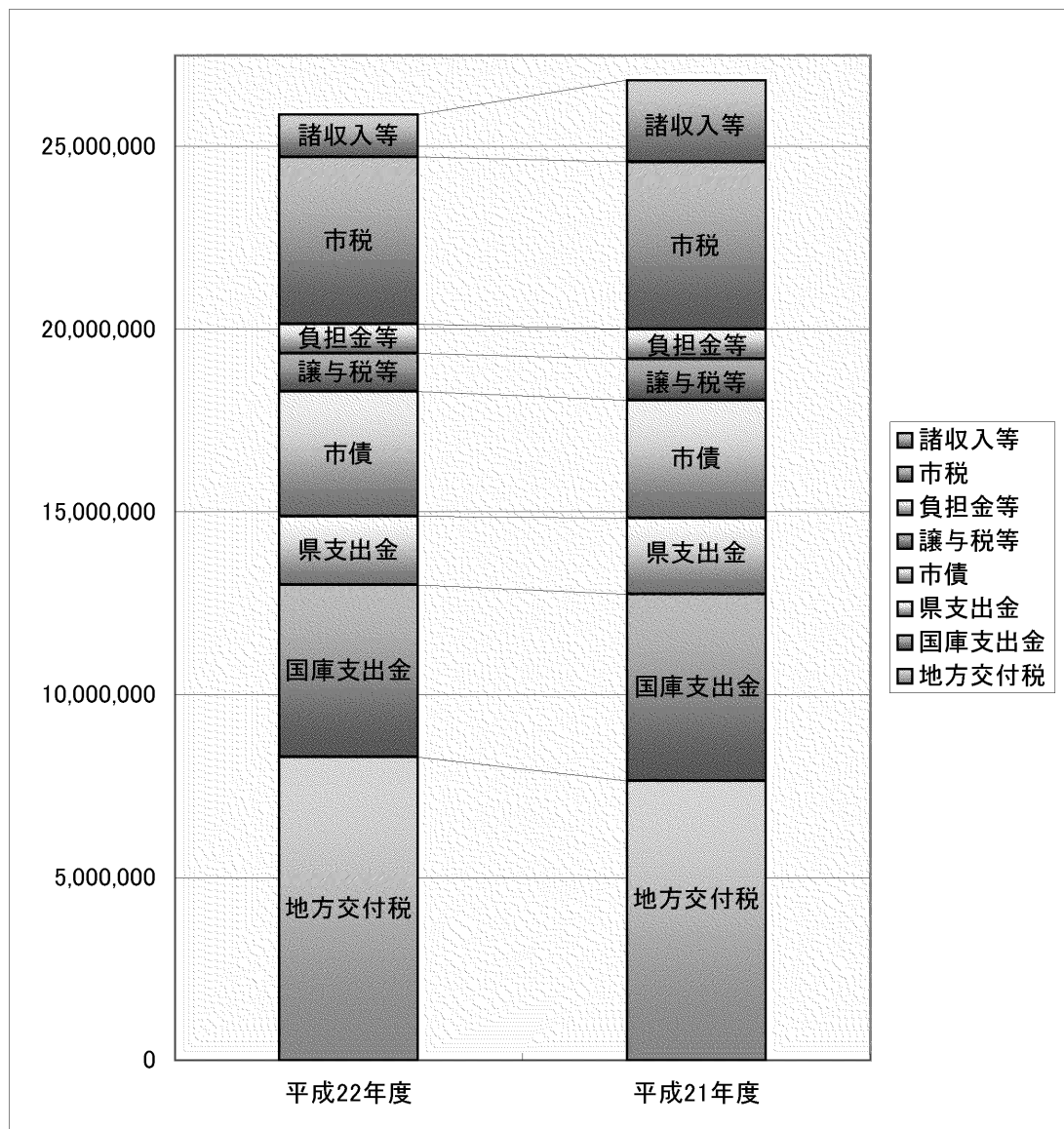
平成22年9月30日現在

◎一般会計款別歳入予算

（単位：％、千円）

		平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	比較	伸率
依存財源	地方交付税	8,300,636	32.1	7,650,000	28.5	650,636	8.5
	国庫支出金	4,704,162	18.2	5,100,823	19.0	△ 396,661	△ 7.8
	県支出金	1,881,256	7.3	2,075,484	7.7	△ 194,228	△ 9.4
	市債	3,406,200	13.2	3,239,600	12.1	166,600	5.1
	譲与税等	1,056,740	4.1	1,125,470	4.2	△ 68,730	△ 6.1
自主財源	負担金等	788,402	3.0	817,327	3.0	△ 28,925	△ 3.5
	市税	4,572,394	17.7	4,568,147	17.0	4,247	0.1
	諸収入等	1,176,339	4.5	2,239,164	8.4	△ 1,062,825	△ 47.5
計		25,886,129	100.0	26,816,015	100.0	△ 929,886	△ 3.5

※構成割合の合計は端数調整の関係上必ずしも一致しません



平成22年度 一般会計歳出予算款別内訳表

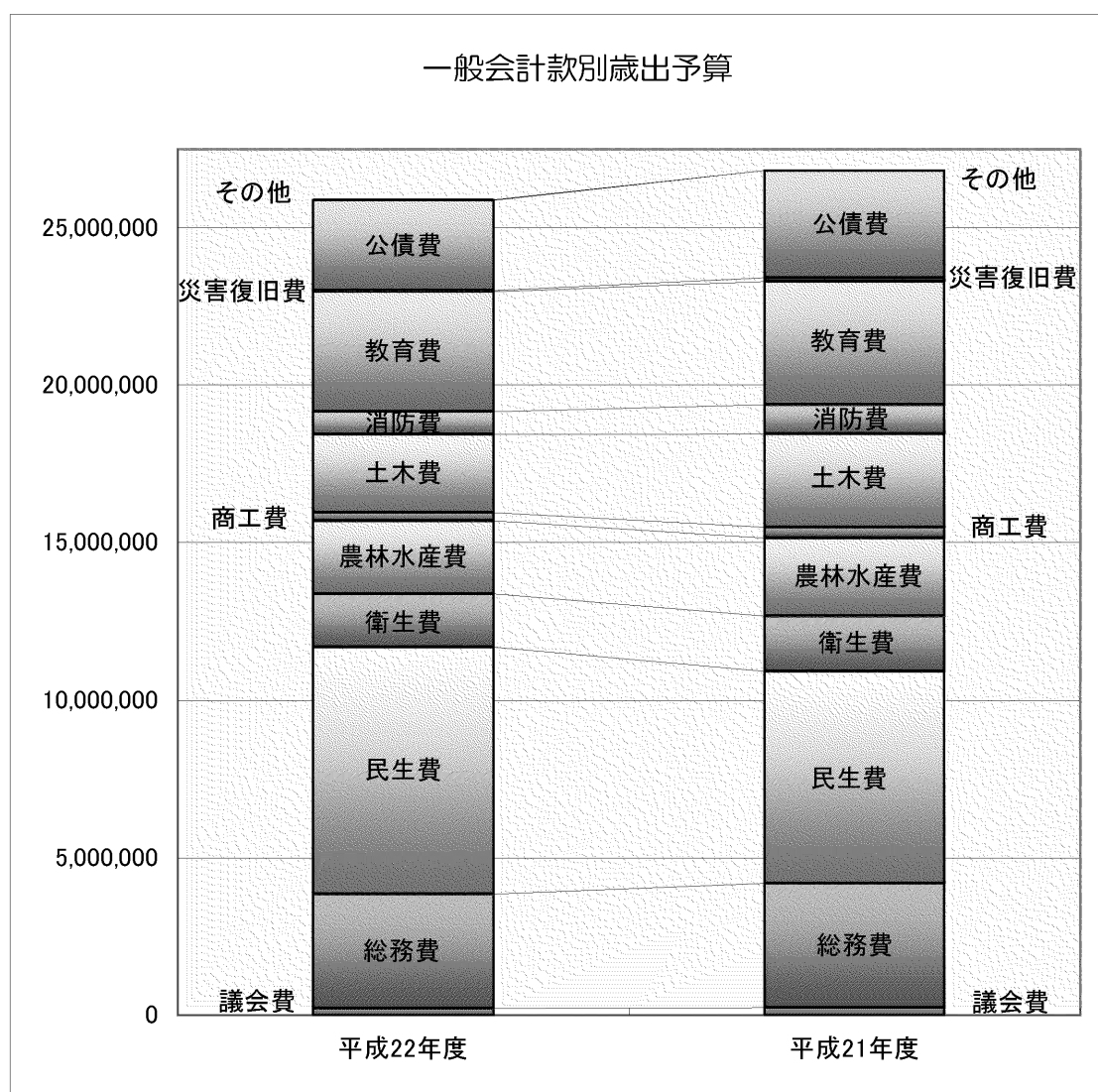
平成22年9月30日現在

◎一般会計款別歳出予算

(単位：%,千円)

	平成22年度	構成比	平成21年度	構成比	対前年度	構成比
議会費	224,146	0.9	246,592	0.9	△ 22,446	△ 0.0
総務費	3,630,853	14.0	3,937,588	14.7	△ 306,735	△ 0.7
民生費	7,820,927	30.2	6,730,673	25.1	1,090,254	5.1
衛生費	1,692,999	6.5	1,764,173	6.6	△ 71,174	△ 0.1
農林水産費	2,317,758	9.0	2,466,700	9.2	△ 148,942	△ 0.2
商工費	273,177	1.1	345,409	1.3	△ 72,232	△ 0.2
土木費	2,470,662	9.5	2,955,178	11.0	△ 484,516	△ 1.5
消防費	727,579	2.8	927,918	3.5	△ 200,339	△ 0.7
教育費	3,817,557	14.7	3,908,171	14.6	△ 90,614	0.1
災害復旧費	34,408	0.1	125,397	0.5	△ 90,989	△ 0.4
公債費	2,863,993	11.1	3,398,216	12.7	△ 534,223	△ 1.6
その他	12,070		10,000		2,070	
計	25,886,129	100.0	26,816,015	100.0	△ 929,886	△ 0.1

※構成割合の合計は端数調整の関係上必ずしも一致しません

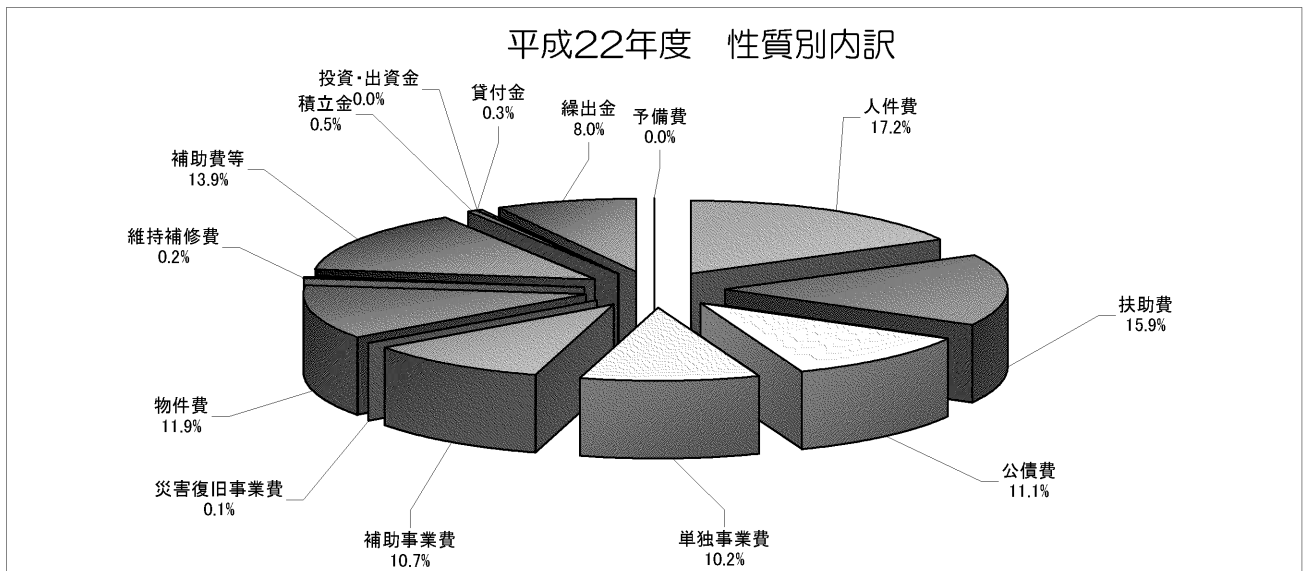


平成22年度 一般会計予算性質別内訳（繰越分を含む）

（単位：千円、％）

区分 性質別経費	平成22年度当初		補正回数									平成22年9月30日現在	
	金額	構成比	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	金額	構成比
I 義務的経費	11,399,200	45.3	0	0	0	0	14,878	0	0	494	7,951	11,422,523	44.1
① 人件費	4,420,990	17.6					14,878			494	7,951	4,444,313	17.2
② 扶助費	4,114,217	16.4										4,114,217	15.9
③ 公債費	2,863,993	11.4										2,863,993	11.1
II 投資的経費	4,996,472	19.9	0	0	0	8,638	49,133	56,778	8,870	0	313,417	5,433,308	21.0
① 単独事業費	2,345,958	9.3					29,645				265,924	2,641,527	10.2
② 補助事業費	2,634,894	10.5					19,488	56,778			46,213	2,757,373	10.7
③ 災害復旧事業費	15,620	0.1				8,638			8,870		1,280	34,408	0.1
III その他の経費	8,762,616	34.8	0	4,815	100,000	0	61,707	0	0	2,591	98,569	9,030,298	34.9
① 物件費	2,975,000	11.8		1,089	23,037		49,355			1,371	31,671	3,081,523	11.9
② 維持補修費	49,108	0.2					1,764			1,220	3,864	55,956	0.2
③ 補助費等	3,483,990	13.8		3,726	76,963		6,085				32,799	3,603,563	13.9
④ 積立金	123,927	0.5										123,927	0.5
⑤ 投資・出資金		0.0										0	0.0
⑥ 貸付金	75,596	0.3										75,596	0.3
⑦ 繰出金	2,044,995	8.1					2,433				30,235	2,077,663	8.0
⑧ 予備費	10,000	0.0					2,070					12,070	0.0
合計	25,158,288	100.0	0	4,815	100,000	8,638	125,718	56,778	8,870	3,085	419,937	25,886,129	100.0

※構成割合の合計は端数調整の関係上必ずしも一致しません



平成22年度 一般会計予算の執行状況（繰越分を含む）

〈歳入〉

款別	区分	当初予算 A	補正予算 B	予算現額 C	4月 収入額	5月 収入額
1	市税	4,572,394		4,572,394	104,239	702,354
2	地方譲与税	354,001		354,001		
3	利子割交付金	20,000		20,000		
4	配当割交付金	2,800		2,800		
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000		1,000		
6	地方消費税交付金	463,000		463,000		
7	ゴルフ場利用税交付金	37,000		37,000		
8	自動車取得税交付金	84,000		84,000		
9	地方特例交付金	85,000	△ 842	84,158	44,345	
10	地方交付税	7,800,000	500,636	8,300,636	1,961,491	
11	交通安全対策特別交付金	10,781		10,781		
12	分担金及び負担金	384,466	424	384,890	18,551	26,858
13	使用料及び手数料	402,142	1,370	403,512	20,248	29,156
14	国庫支出金	4,581,011	123,151	4,704,162	80,709	1,188,030
15	県支出金	1,746,775	134,481	1,881,256		
16	財産収入	48,402	3,728	52,130	83	3,739
17	寄附金	901	1,400	2,301		
18	繰入金	650,863	△ 167,281	483,582	2,816	2,816
19	繰越金	240,608		240,608		
20	諸収入	388,144	9,574	397,718	1,702	12,167
22	市債	3,285,000	121,200	3,406,200		
	合 計	25,158,288	727,841	25,886,129	2,234,184	1,965,120

〈歳出〉

款別	区分	当初予算 A	補正予算 B	予算現額 C	4月 支出額	5月 支出額
1	議会費	214,893	9,253	224,146	15,850	14,779
2	総務費	3,318,497	312,356	3,630,853	83,864	145,672
3	民生費	7,736,333	84,594	7,820,927	342,618	338,973
4	衛生費	1,685,335	7,664	1,692,999	148,927	49,477
5	農林水産業費	2,172,593	145,165	2,317,758	40,243	35,604
6	商工費	246,908	26,269	273,177	22,621	11,561
7	土木費	2,397,882	72,780	2,470,662	71,908	37,446
8	消防費	720,817	6,762	727,579	135,472	1,501
9	教育費	3,775,427	42,130	3,817,557	117,769	145,005
10	災害復旧費	15,620	18,788	34,408		
11	公債費	2,863,993		2,863,993		
13	予備費	10,000	2,070	12,070		
	合 計	25,158,298	727,831	25,886,129	979,272	780,018

平成22年9月30日現在

(単位：千円、%)

〈歳入〉

款別	区分	6月 収入額	7月 収入額	8月 収入額	9月 収入額	収入済額 D	D/C
1	市税	977,924	427,582	448,561	400,418	3,061,078	66.9
2	地方譲与税	69,584				69,584	19.7
3	利子割交付金			6,416		6,416	32.1
4	配当割交付金			1,326		1,326	47.4
5	株式等譲渡所得割交付金						
6	地方消費税交付金	92,527			199,443	291,970	63.1
7	ゴルフ場利用税交付金			13,046		13,046	35.3
8	自動車取得税交付金			19,348		19,348	23.0
9	地方特例交付金				39,813	84,158	100.0
10	地方交付税	1,961,491			1,938,827	5,861,809	70.6
11	交通安全対策特別交付金				4,837	4,837	44.9
12	分担金及び負担金	28,560	26,129	34,396	32,029	166,523	43.3
13	使用料及び手数料	28,371	30,252	32,775	28,531	169,333	42.0
14	国庫支出金	30,475	139,817	178,941	338,589	1,956,561	41.6
15	県支出金		56,724	496,186	53,300	606,210	32.2
16	財産収入	1,989	206	1,357	7,547	14,921	28.6
17	寄附金	160	1,187	67	2,571	3,985	173.2
18	繰入金	2,576	2,576	9,036	5,368	25,188	5.2
19	繰越金	608,937				608,937	253.1
20	諸収入	16,346	48,984	19,445	15,952	114,596	28.8
22	市債						
	合計	3,818,940	733,457	1,260,900	3,067,225	13,079,826	50.5

〈歳出〉

(単位：千円、%)

款別	区分	6月 支出額	7月 支出額	8月 支出額	9月 支出額	支出済額 D	D/C
1	議会費	38,393	13,591	12,534	14,865	110,012	49.1
2	総務費	358,885	178,732	254,587	250,189	1,271,929	35.0
3	民生費	696,145	429,696	605,919	401,829	2,815,180	36.0
4	衛生費	149,591	109,882	95,837	172,596	726,310	42.9
5	農林水産業費	65,824	55,153	95,651	503,172	795,647	34.3
6	商工費	32,957	11,319	12,149	19,029	109,636	40.1
7	土木費	92,789	44,477	144,237	176,867	567,724	23.0
8	消防費	143,299	21,889	37,451	173,152	512,764	70.5
9	教育費	419,586	204,153	301,068	264,686	1,452,267	38.0
10	災害復旧費	305	1,440	2,187	20,227	24,159	70.2
11	公債費			28,442	1,365,895	1,394,337	48.7
13	予備費						
	合計	1,997,774	1,070,332	1,590,062	3,362,507	9,779,965	37.8

平成22年度 税の徴収状況

平成22年9月30日現在

(単位：千円、%)

税 目		予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	
普通税	個人市民税	現年課税分	1,414,871	1,467,554	704,516	49.8	48.0
		滞納繰越分	21,276	193,712	15,900	74.7	8.2
	法人市民税	現年課税分	308,000	379,338	326,496	106.0	86.1
		滞納繰越分	1	8,738	539	53,900.0	6.2
	固定資産税	現年課税分	2,270,000	2,438,343	1,628,686	71.7	66.8
		滞納繰越分	48,181	510,934	20,373	42.3	4.0
	交付金	現年課税分	118,335	118,335	118,335	100.0	100.0
	軽自動車税	現年課税分	121,154	134,474	125,006	103.2	93.0
		滞納繰越分	3,323	16,564	1,844	55.5	11.1
市たばこ税	現年課税分	249,252	114,408	114,397	45.9	100.0	
目的税	入湯税	現年課税分	18,000	4,962	4,920	27.3	99.2
		滞納繰越分	1	16,022	66	6,600.0	0.4
合 計	現年課税分	4,499,612	4,657,414	3,022,356	67.2	64.9	
	滞納繰越分	72,782	745,970	38,722	53.2	5.2	
	計	4,572,394	5,403,384	3,061,078	66.9	56.7	

平成21年度 税の徴収実績

平成21年9月30日現在

(単位：千円、%)

税 目		予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	C/A	C/B	
普通税	個人市民税	現年課税分	1,421,486	1,628,280	769,334	54.1	47.2
		滞納繰越分	18,038	180,112	16,191	89.8	9.0
	法人市民税	現年課税分	206,551	253,277	221,939	107.4	87.6
		滞納繰越分	1	9,436	1,227	122,700.0	13.0
	固定資産税	現年課税分	2,307,038	2,472,089	1,618,048	70.1	65.5
		滞納繰越分	45,142	517,570	31,136	69.0	6.0
	交付金	現年課税分	121,529	121,529	121,529	100.0	100.0
	軽自動車税	現年課税分	120,603	131,816	120,712	100.1	91.6
		滞納繰越分	2,754	17,503	1,706	61.9	9.7
市たばこ税	現年課税分	307,004	122,384	122,374	39.9	100.0	
目的税	入湯税	現年課税分	18,000	7,531	6,920	38.4	91.9
		滞納繰越分	1	14,939	2	200.0	0.0
合 計	現年課税分	4,502,211	4,736,906	2,980,856	66.2	62.9	
	滞納繰越分	65,936	739,560	50,262	76.2	6.8	
	計	4,568,147	5,476,466	3,031,118	66.4	55.3	

平成22年度 特別会計収支状況（繰越分を含む）

（予算現額及び収支）

平成22年9月30日現在

1. 国民健康保険事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	6,328,595	2,219,631	35.1 %
歳 出	6,328,595	2,701,396	42.7 %

2. 老人保健医療事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	23,429	8,790	37.5 %
歳 出	23,429	9,589	40.9 %

3. 後期高齢者医療事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	550,830	148,731	27.0 %
歳 出	550,830	102,771	18.7 %

4. 介護保険事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	4,461,482	1,784,524	40.0 %
歳 出	4,461,482	1,862,998	41.8 %

5. 簡易水道事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	412,646	24,098	5.8 %
歳 出	412,646	62,861	15.2 %

6. 公共下水道事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	1,117,262	174,428	15.6 %
歳 出	1,117,262	309,599	27.7 %

7. 特定環境保全公共下水道事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	559,775	98,336	17.6 %
歳 出	559,775	196,088	35.0 %

8. 地域生活排水処理事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	142,041	20,904	14.7 %
歳 出	142,041	40,061	28.2 %

9. 農業集落排水事業特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	491,819	116,756	23.7 %
歳 出	491,819	205,892	41.9 %

10. 特別養護老人ホーム特別会計

（単位：千円）

区 分	予 算 現 額 A	収 支 額 B	B / A
歳 入	652,676	207,176	31.7 %
歳 出	652,676	280,484	43.0 %

地方債現在高調べ

平成22年9月30日現在
(単位：千円)

会計別	平成21年度末 未償還元金A	平成22年度支出見込状況			平成22年度 借入予定額 (繰越を含む) C <small>上段：現年度 下段：繰越</small>	差引現在高 A-B+C	備考
		元金B	利子	計			
一般会計	25,673,737	2,435,337	427,656	2,862,993	2,606,700 799,500	26,644,600	
簡易水道事業特別会計	1,156,976	22,234	24,060	46,294	214,000	1,348,742	
公共下水道事業特別会計	4,422,576	384,515	87,938	472,453	405,100 38,500	4,481,661	
特定環境保全公共下水道事業特別会計	3,859,284	201,662	73,007	274,669	164,400 17,200	3,839,222	
地域生活排水処理事業特別会計	291,797	6,570	5,614	12,184	50,000	335,227	
農業集落排水事業特別会計	3,592,037	224,161	74,316	298,477	120,000	3,487,876	
特別養護老人ホーム特別会計	1,198,586	61,326	22,788	84,114	0	1,137,260	
合計	40,194,993	3,335,805	715,379	4,051,184	4,415,400	41,274,588	

※平成22年度借入予定額には平成21年度からの繰越分を含む

平成22年度 一時借入金に関する調べ

平成22年9月30日現在
(単位：千円)

借入先	借入年月日	借入金額	利率(%)	返済年月日	借入目的
平成22年4月1日	財政調整基金	500,000	0.170	平成22年4月5日	国民健康保険会計財政運営
平成22年4月1日	財政調整基金	300,000	0.170	平成22年4月5日	下水道会計財政運営

3.市有財産の状況

(1) 土地及び建物

平成22年9月30日現在

(単位：㎡)

区 分	行政財産		普通財産	
	土地(地積)	建 物	土地(地積)	建 物
本庁舎	13,671.55	4,998.23		
総合支所等	33,590.51	8,933.09		
公共 用財 産	学 校	426,819.33	182,687.24	
	公営住宅	225,036.45	78,454.06	
	公 園	263,970.10	603.42	
	その他	960,993.64	218,753.24	584,682.22
山 林			11,553,359.00	
合 計	1,924,081.58	494,429.28	12,138,041.22	2,133.52

(2) 物権

区 分	面 積	
地上権	16,365.00	㎡
温泉権	29.80	㎡

(3) 有価証券

区 分	額 面
株券	875 千円
四季の里	111,000 千円
大牟田リサイクル	1,150 千円

(4) 基金

(単位：千円)

区 分			H21.9.30現在	H22.9.30現在		
財政調整基金		災害復旧、地方債の繰上償還及び財源不足補てん	4,604,281	4,814,506		
減債基金		市債の償還、市債の適正管理、財政の健全運営	1,580,975	1,515,869		
特定 目的 基金	取 崩 型 積 立 型	庁舎建設基金	新庁舎の建設資金	604,653	905,652	
		ジュニアスポーツ育成ゆうり基金	ジュニアスポーツの振興	3,081	2,864	
		環境整備基金	環境保全整備	188,926	220,315	
		振興小川基金	地域振興	912,524	914,982	
		企業誘致促進基金	企業誘致の促進及び産業の振興	303,184	303,672	
		奨学基金	現金	奨学資金の現金	17,082	23,684
			貸付	奨学資金の貸付	209,189	229,969
		教育振興基金	現金	教育の振興	96,938	90,744
			貸付	教育振興基金奨学資金の貸付	4,560	7,620
		小 計			2,126,388	2,461,913
土地開発基金	現金	公用・公共用土地の先行取得により事業の円滑執行	519,872	549,967		
	土地	基金で取得している面積を表示(単位：㎡)	14,819.78	13,860.38		
国民健康保険財政調整基金		国民健康保険財政の健全運営	218,846	188,343		
介護給付費準備基金		介護保険の健全かつ円滑な運営	184,640	206,805		
介護従事者処遇改善臨時特例基金		介護保険料の急激な上昇の抑制	30,333	10,057		
旭志村簡易水道財政調整基金		旭志地域簡易水道の健全運営	16,903	5,226		
特別養護老人ホームつまごめ荘財政調整基金		つまごめ荘の財政の健全運営	199,818	200,665		
合 計			9,482,056	9,953,351		

(5) 出資による権利

(単位：千円)

区 分	金 額
菊池森林組合出資金	8,138
熊本県農業信用基金協会出資金	9,150
熊本県中小企業設備貸与公社設立出資金	180
熊本県畜産協会出資金	1,920
菊池市土地開発公社出資金	1,000
熊本県農業後継者育成基金出資金	5,961
熊本県林業公社出資金	200
(有)ファームきくち出資金	50,000
(有)きくち観光物産館設立出資金	5,200
七城町特産品センター出資金	65,200
七城町振興公社出資金	68,000
七城町銘柄米センター出資金	80,000
旭志ふれあいセンター出資金	15,300
有朋の里洒水出資金	8,200
熊本県林業従事者育成基金拠出金	7,125
熊本県信用保証協会出捐金	44,570
熊本県農地管理公社出捐金	916
熊本県中小企業振興公社出捐金	300
熊本県角膜、腎臓バンク協会出捐金	2,805
熊本県暴力追放協議会出捐金	1,290
熊本さわやか長寿財団設立出捐金	2,804
砂防フロンティア整備推進機構設立出捐金	102
ふるさとの川モデル事業出捐金	1,000
熊本県雇用環境整備協会出捐金	6,700
熊本テクノポリスバイオ研究開発出捐金	34,000
熊本テクノポリス技術開発基金による 債務保証事業への出捐金	37,112
熊本県環境整備事業団出捐金	30
地方公営企業等金融機構への出資金	3,700
計	460,903

(6) 物品

区 分	台数
車両運搬具類	260
工具・器具類	7
機械・装置類	441
家具・収納類	31
文化・体育用品類	154
倉庫・施設類	13

※50万円以上を記載

4. 住民の負担状況

年度別人口・世帯数

(単位：人)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
人 口	52,500	52,265	52,078	51,722
世 帯 数	17,535	17,763	17,862	17,947

※ 人口及び世帯数は、9月末現在の調べによる。

市税の負担状況（現年課税分）

平成22年9月30日現在

(単位：千円)

区 分	調 定 額			現計予算		
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
住 民 の 税 負 担	市民税 (法人を除く)	1,624,389		1,675,143	1,628,280	1,414,871
		1世帯あたり	93	94	91	79
		1人あたり	31	32	31	27
	固定資産 (交付金等を 除く)	2,511,473		2,549,080	2,472,089	2,270,000
		1世帯あたり	143	144	138	126
		1人あたり	48	49	47	44
	軽自動車税	124,980		128,433	131,816	121,154
		1世帯あたり	7	7	7	7
		1人あたり	2	2	3	2
	平均負担	4,260,842		4,352,656	4,232,185	3,806,025
		一世帯あたり	243	245	237	212
		一人あたり	81	83	81	74

※ 平均負担は端数調整により合計と一致しません。

1人あたりの借金（地方債）残高

平成22年9月30日現在

(単位：千円)

区 分	地方債年度末現在高(普通会計)			現計予算
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
地方債現在高	27,009,304	26,290,215	25,673,737	26,644,600
1人あたり	514	503	493	515

5. 平成21年度決算状況

平成21年度 一般会計決算の概況

1 決算規模

歳入 250億54百万円（前年度226億88百万円 対前年23億66百万円の増加）
歳出 239億45百万円（前年度217億1百万円 対前年22億44百万円の増加）

2 決算収支

実質収支 9億68百万円の黒字（前年度8億26百万円の黒字）
単年度収支 1億42百万円の黒字（前年度3億28百万円の赤字）

H19：純繰越金 5億54百万円 11億54百万円から6億円の積立を実施
H20：純繰越金 3億76百万円 8億26百万円から4億50百万円の積立を実施
H21 純繰越金 4億68百万円 9億68百万円から5億円の積立を実施

3 歳入

市税 50億16百万円（前年度54億6百万円 7.2%減）
《徴収率 現年分97.5%（前年度97.2%） 滞納繰越分12.4%（前年度11.5%）
合計 86.6%（前年度87.6%）》
地方交付税 84億43百万円（前年度79億3百万円 6.8%の増）
うち普通交付税 73億47百万円（前年度68億36百万円 7.5%の増）
地方債 臨時財政対策債 9億51百万円（前年度6億13百万円 55.1%の増）
その他 13億91百万円（前年度13億53百万円 2.8%の増）
合計 23億42百万円（前年度19億66百万円 19.13%の増）
繰入金 4億74百万円（前年度7億55百万円 37.2%の減）
《減債3億69百万円》
国庫支出金 41億39百万円（前年度21億31百万円 94.2%の増）
都道府県支出金 16億96百万円（前年度15億19百万円 11.7%の増）

4 歳出

人件費 42億48百万円（前年度44億24百万円 4.0%の減）
扶助費 34億7百万円（前年度32億12百万円 6.1%の増）
公債費 33億94百万円（前年度31億40百万円 8.1%の増）
補助費等 32億22百万円（前年度25億38百万円 27.0%の増）

繰出金	23億43百万円（前年度23億78百万円 1.5%の減）
	《国保事業 4億59百万円 老人保健事業 1百万円 後期高齢事業 8億4百万円 介護保険事業 6億26百万円 下水道事業 4億44百万円》
普通建設事業	35億30百万円（前年度27億15百万円 30.0%の増）
うち補助事業	9億67百万円（前年度8億95百万円 8.0%の増）
うち単独事業	23億65百万円（前年度16億6百万円 47.3%の増）

5 財政指標

経常収支比率 93.4%（前年度96.1%） 2.7ポイントの減

- ・ 乳幼児医療助成や生活保護における生活扶助及び医療扶助が増加し、地方税については、長引く不況や基幹産業である農業の収益が落ち込んでいるが、普通交付税及び臨時財政対策債の増により回復している。

公債費比率 10.9%（前年度12.9%）

公債費負担比率 17.8%（前年度18.0% 0.2ポイントの減）

実質公債費比率（単年度）12.1%（前年度14.1% 2.0ポイントの減）

（3カ年平均）13.6%（前年度14.8% 1.2ポイントの減）

起債制限比率（単年度）9.8%（前年度9.8%）

6 将来にわたる実質的な財政負担

地方債現在高 256億74百万円（前年度262億90百万円 2.3%の減）

債務負担行為に基づく支出予定額 20億31百万円（前年度25億71百万円 21%減）

積立金現在高 82億71百万円（前年度78億35百万円 5.6%の増）

うち財政調整基金 46億11百万円（前年度43億96百万円 4.9%の増）

うち減債基金 12億15百万円（前年度13億28百万円 8.5%の減）

うち特定目的基金 24億45百万円（前年度21億10百万円 15.9%の増）

7 中期財政計画（策定の有・無）

無

中長期財政計画については、最大の事業である庁舎建設が凍結されているため策定できない状態である。現在、財務会計システムの事業コードをベースとして、総合計画、実施計画、財政計画、事業評価、新市建設計画、主要施策の成果、行政改革集中プラン等に活用できるよう、各課と協議しながらデータベース化、情報の共有を図るべくシステムの構築中である。

8 財政健全化の取組

地方公会計制度改革にもあるとおり、公共資産の売却等を柱とした、公有財産（土地）について法務局台帳との突合を含め整備を進めている。平成21年度策定を果たした、第二次菊池市行政改革大綱により、新市建設計画の見直しや学校給食の民営化、老人福祉施設及び公立保育園等の民間委託推進など事務事業の抜本的な見直のための協議も進行中である。

自主財源の確保として企業誘致対策室を設け、うち1名を大阪事務所へ派遣している。平成21年度においては、1件の企業進出を果たした。

また、収納対策としては、収納係から徴税課へ組織変更し、差し押さえ物件のインターネット公売等を行い徴収額の向上に努めている。

歳出の17.7%以上を占める人件費については、合併当初613名から533名に削減し、定員管理適正化計画を大幅に上回る職員削減を果たしている。

9 主な課題

本市の主な課題については、次のとおり。

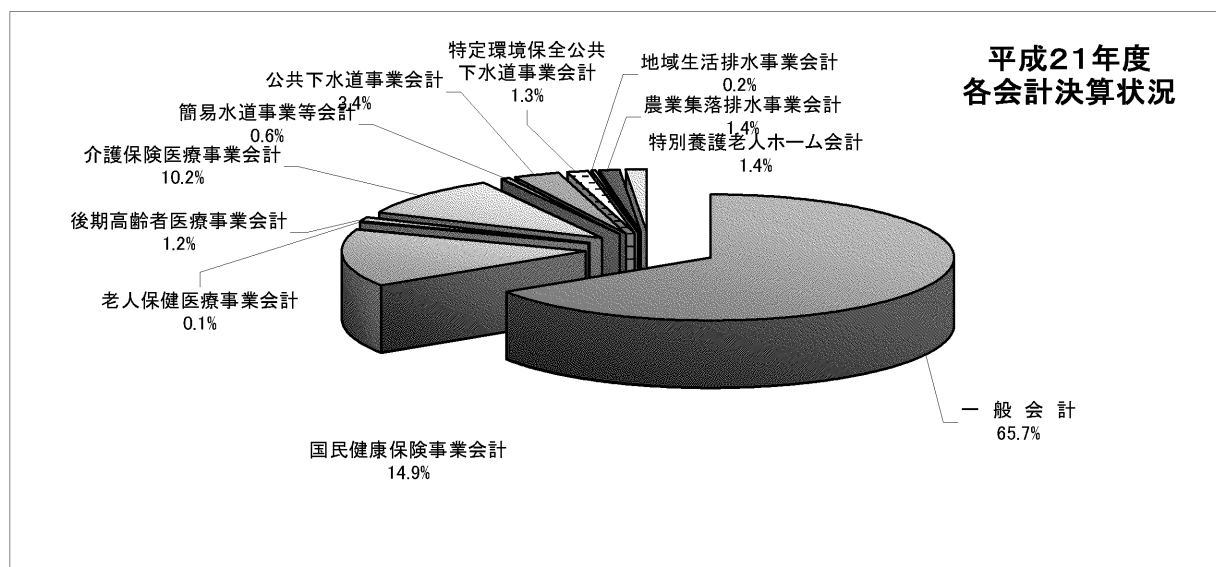
- 交付税の優遇措置（合併算定替影響額15億円）の削減
- 新庁舎建設
- 高齢社会による医療費増大に伴う繰出金の増
- 施設の老朽化に伴う施設改修費の増大（施設の統廃合）
- 一般廃棄物最終処分場建設
- 景気後退による税収の減
- 高額滞納者の整理（市税徴収率の向上）
- 土地開発公社所有資産の早期売却（企業誘致）
- 新市建設計画に伴う新発債（合併特例債等）の償還
- 第三セクター等連結対象団体の健全財政運営

平成21年度 各会計別決算状況

平成22年5月31日現在
(単位：千円)

会計の種類別	予算現額 A	歳入決算 B	歳出決算 C	残額 (B-C)	C/A	備 考	
一 般 会 計	27,732,272	25,063,075	23,954,138	1,108,937	86.4		
特別会計	国民健康保険事業会計	6,280,248	6,199,477	6,186,411	13,066	98.5	一般会計繰入金 375,443
	老人保健医療事業会計	21,255	28,484	19,707	8,777	92.7	〃 500
	後期高齢者医療事業会計	487,516	474,142	472,889	1,253	97.0	〃 167,416
	介護保険医療事業会計	4,300,554	4,338,413	4,254,693	83,720	98.9	〃 577,680
	簡易水道事業等会計	267,541	266,206	264,515	1,691	98.9	
	公共下水道事業会計	1,229,615	1,142,774	1,142,774	0	92.9	一般会計繰入金 35,266
	特定環境保全公共下水道事業会計	612,849	571,601	570,754	847	93.1	〃 162,841
	地域生活排水事業会計	100,966	94,813	94,811	2	93.9	〃 14,984
	農業集落排水事業会計	576,735	564,790	564,789	1	97.9	〃 230,923
	特別養護老人ホーム会計	604,089	598,659	595,213	3,446	98.5	〃 4,200
計	42,213,640	39,342,434	38,120,694	1,221,740	90.3	〃 1,569,253	
純 計	42,213,640	37,773,181	36,551,441	1,221,740	86.6		

※決算額については純計処理を行っているため決算書の数値とは一致しません。



平成21年度 一般会計決算状況(繰越額を含む)

平成22年5月31日現在

(単位：千円)

歳 入				
科 目	予算現額 A	構成比 (%)	収入済額 B	B/A (%)
1 市税	4,531,023	16.3	5,016,230	110.7
2 地方譲与税	375,593	1.4	375,594	100.0
3 利子割交付金	15,609	0.1	15,609	100.0
4 配当割交付金	3,000		3,671	122.4
5 株式等譲渡所得割交付金	1,000		1,618	161.8
6 地方消費税交付金	514,918	1.9	514,918	100.0
7 ゴルフ場利用税	38,799	0.1	38,800	100.0
8 自動車取得税交付金	70,215	0.3	70,215	100.0
9 地方特例交付金	78,181	0.3	78,181	100.0
10 地方交付税	8,442,688	30.4	8,442,688	100.0
11 交通安全対策特別交付金	10,270		10,516	102.4
12 分担金及び負担金	414,895	1.5	410,798	99.0
13 使用料及び手数料	397,992	1.4	390,866	98.2
14 国庫支出金	5,895,979	21.3	4,139,058	70.2
15 県支出金	2,160,986	7.8	1,696,184	78.5
16 財産収入	66,500	0.2	73,917	111.2
17 寄附金	1,142		1,181	103.4
18 繰入金	474,294	1.7	474,079	100.0
19 繰越金	537,491	1.9	537,492	100.0
20 諸収入	417,650	1.5	429,914	102.9
21 市債	3,284,047	11.8	2,341,547	71.3
歳入合計	27,732,272	100.0	25,063,076	90.4

※構成割合の合計は端数調整の関係上必ずしも一致しません

歳 出				
科 目	予算現額 A	構成比 (%)	支出済額 B	B/A (%)
1 議会費	246,746	0.9	242,478	98.3
2 総務費	4,095,449	14.8	3,769,446	92.0
3 民生費	6,769,611	24.4	6,592,221	97.4
4 衛生費	1,701,538	6.1	1,640,211	96.4
5 農林水産業費	2,561,479	9.2	2,029,155	79.2
6 商工費	356,999	1.3	348,698	97.7
7 土木費	3,115,490	11.2	2,645,396	84.9
8 消防費	904,555	3.3	891,747	98.6
9 教育費	4,419,171	15.9	2,312,739	52.3
10 災害復旧費	108,105	0.4	87,794	81.2
11 公債費	3,394,327	12.2	3,394,253	100.0
12 諸支出金				
13 予備費	58,802	0.2		
歳出合計	27,732,272	100.0	23,954,138	86.4

※構成割合の合計は端数調整の関係上必ずしも一致しません

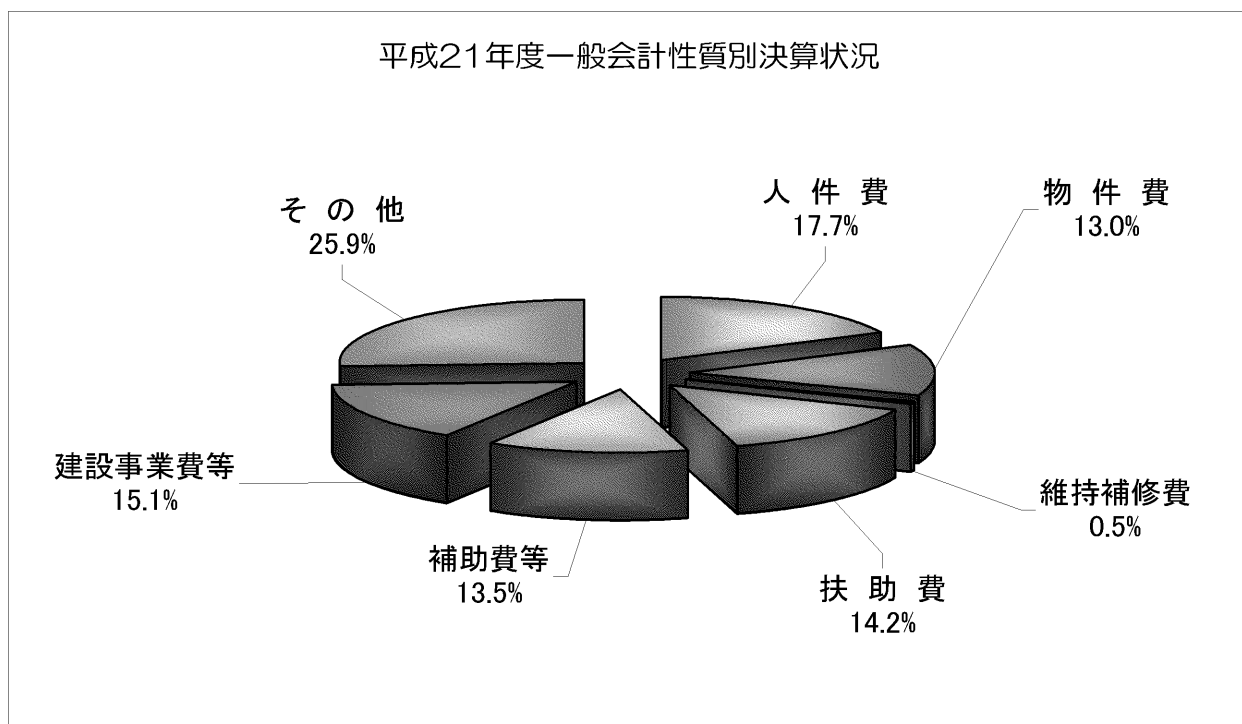
平成21年度 一般会計性質別決算状況（繰越額を含む）

平成22年5月31日現在

（単位：千円）

科 目	人 件 費	物 件 費	維持補修費	扶 助 費	補助費等	建設事業費等	そ の 他	支出済額
1.議 会 費	214,507	22,831			5,140			242,478
2.総 務 費	1,627,600	541,462	3,405		991,576	212,647	324,952	3,701,642
3.民 生 費	728,987	367,645	8,103	3,346,664	260,689	95,823	1,897,324	6,705,235
4.衛 生 費	201,963	801,103	26	27,917	483,972	28,425	46,521	1,589,927
5.労 働 費	7,423	55,852						63,275
6.農林水産業費	350,594	125,261	2,002		648,695	543,321	230,923	1,900,796
7.商 工 費	73,840	61,987	820		74,246	121,158	20,692	352,743
8.土 木 費	243,823	184,543	86,863		7,608	1,949,072	199,884	2,671,793
9.消 防 費	69,461	99,508	686		666,357	78,079		914,091
10.教 育 費	729,714	855,075	19,916	32,479	83,811	501,180	99,246	2,321,421
11.災害復旧費						87,793		87,793
12.公 債 費							3,394,253	3,394,253
13.諸支出金								
14.予 備 費								
合 計	4,247,912	3,115,267	121,821	3,407,060	3,222,094	3,617,498	6,213,795	23,945,447
構成割合 (%)	17.7	13.0	0.5	14.2	13.5	15.1	25.9	100.0

※構成割合の合計は端数調整の関係上必ずしも一致しません



平成21年度 一般会計性質別決算状況（歳出）

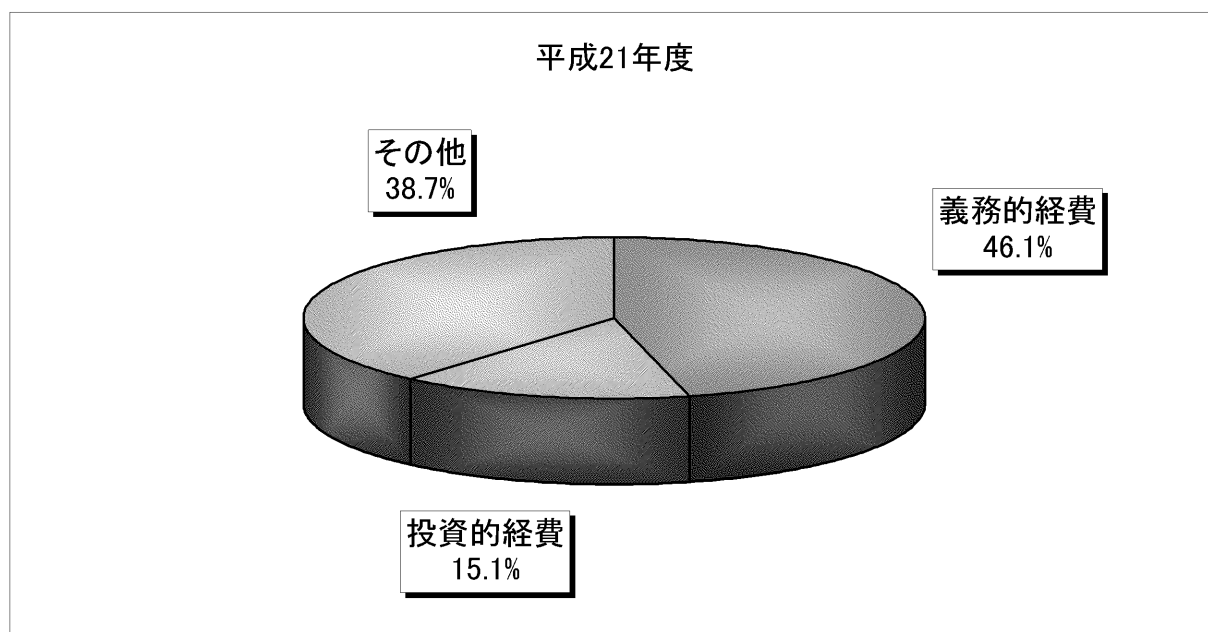
平成22年5月31日現在
（単位：千円、％）

項目	金額	構成比	項目	H21決算額(A)	構成比	H20決算額(B)	比較(A)-(B)
義務的経費	11,049,225	46.1	人件費	4,247,912	17.7	4,424,351	△ 176,439
			扶助費	3,407,060	14.2	3,211,928	195,132
			公債費	3,394,253	14.2	3,139,634	254,619
投資的経費	3,617,498	15.1	単独事業費	2,563,161	10.7	1,806,309	756,852
			補助事業費	966,544	4.0	908,370	58,174
			災害復旧費	87,793	0.4	28,254	59,539
その他	9,278,724	38.7	物件費	3,115,267	13.0	2,526,508	588,759
			補助費等	3,222,094	13.5	2,537,931	684,163
			その他	2,941,363	12.3	3,117,309	△ 175,946
合 計				23,945,447	100.0	21,700,594	2,244,853

※単独事業：単独事業+県営事業負担金+受託事業（単独）+同級他団体施行事業負担金

※補助事業：補助事業+国直轄事業負担金+受託事業（補助）

※構成割合の合計は端数調整の関係上必ずしも一致しません



平成21年度 一般会計による主な投資的経費の内訳(繰越事業含む)

平成22年5月31日現在
(単位：千円)

番 号	事 業 名 称	事 業 費
1	道路維持整備事業	335,809
2	まちづくり交付金事業	199,691
3	総合体育館空調設備等改修事業	189,607
4	光ブロードバンド整備事業	188,000
5	小学校耐震推進事業	185,082
6	公営住宅ストック総合改善事業	142,353
7	経済危機対策事業(旭志)	90,745
8	経済危機対策事業(泗水)	89,466
9	観光施設整備事業	85,016
10	土地基盤整備事業償還助成事業	84,860
11	経済危機対策事業(菊池)	83,720
12	地域連携推進事業(七城)	82,057
13	泗水中央線道路改良事業	81,962
14	次世代育成ハード交付金事業	78,660
15	地域連携推進事業(菊池)	77,219
16	地域連携推進事業(旭志)	64,814
17	経済危機対策事業(七城)	64,337
18	地域連携推進事業(泗水)	51,833
19	団体営里地棚田保全整備事業(太田井手地区)	48,600
20	単県事業負担金経費	48,549
21	団体営基盤整備促進事業(菊池堰地区)	45,000
22	妻越泗水線道路改良事業	41,849
23	農道整備事業(泗水地区)	39,590
24	消防施設整備事業	38,375
25	市有林造成事業	36,854
26	菊池東部地区中山間地域総合整備事業	33,620
27	金峰線道路改良事業	32,459
28	平中学校線道路改良事業	32,421
29	県営花房中部地区畑地帯総合整備事業	31,692
30	小学校営繕工事	30,899
31	藤田赤星線橋梁整備事業	26,569
32	西迫間寺小野線(辺地)道路改良事業	26,200
33	住宅管理費	25,948
34	伊坂小ヶ原線道路改良事業	25,014
35	観光立国推進事業	24,996
36	体育施設整備事業	24,960
37	防災対策事業	23,708
38	単県事業負担金経費	23,200
39	交通安全施設整備事業(経済危機対策)	22,496
40	団体営基盤整備促進事業(佐野原井手地区)	21,600
41	新エネルギー対策事業	20,081

番 号	事 業 名 称	事 業 費
42	塚原原線道路改良事業	19,484
43	農道整備事業	19,051
44	矢護川線道路改良事業	18,215
45	横町片角線道路改良事業	17,642
46	伊倉黒仁田線道路改良事業	17,413
47	災害用備蓄整備事業	16,984
48	宮園橋前川線道路改良事業	16,909
49	中学校耐震推進事業	15,498
50	単県農業用施設整備事業	15,259
51	菰入排水機場改修事業	14,805
52	花房北部地区ふるさと農道緊急整備事業	13,850
53	庁舎施設整備事業（本庁）	12,993
54	環境保全型農業総合支援事業	12,000
55	森北2号線道路改良事業	12,000
56	赤迫線道路改良事業	11,937
57	林道新山1号線整備事（辺地）	11,640
58	交通安全施設整備事業	10,415
59	林業・木材産業振興施設整備事業	10,111
60	田吹富の原線道路改良事業	10,025
61	柏木護線道路改良事業	9,786
62	中学校営繕工事	9,361
63	菊池公園施設整備事業	9,271
64	戸城渡打線（辺地）道路改良事業	8,925
65	急傾斜地崩壊対策事業負担金経費（補助）	8,900
66	生産総合対策事業	8,784
67	自然保養ゾーン整備事業	8,777
68	高永団地線道路改良事業	8,392
69	亘深川線道路改良事業	7,942
70	寺小野上虎口線道路改良事業	7,875
71	農地有効利用支援整備事業	7,666
72	県営福本富地区経営体育成基盤整備事業	7,040
73	道路維持管理経費	6,420
74	自治公民館整備事業	6,357
75	広瀬川環境整備事業	6,059
76	火災報知器設置事業（補助）	5,775
77	電源立地地域対策交付金事業	5,774
78	林業振興事業	5,700
79	高質空間形成事業	5,682
80	県営花房中部（2期地区）畑地帯総合整備事業	5,631
81	地域特産物産地づくり支援対策事業	5,423
82	県営花房北部地区経営体育成基盤整備事業	5,320
83	菊池東部2期地区中山間地域総合整備事業	5,022
84	その他投資的経費	187,681
合 計		3,529,705

※災害復旧事業費は除いています。

平成21年度 事業に対する起債額調べ

(単位:千円)

事業名	起債額	前借	繰越額	借入先	年利率	償還期間	左のうち 据置期間
一般公共事業債	81,200						
農業農村	70,500			財政融資	0.900%	10年	2年
各種災害関連事業(一般分)	8,800			財政融資	1.700%	20年	3年
各種災害関連事業(一般分)農業用施設	1,900			財政融資	1.300%	15年	3年
災害復旧事業債	18,000	11,900	3,000				
現年発生補助災害復旧事業	14,900	11,900	3,000	財政融資	0.900%	10年	2年
現年発生単独災害復旧事業	3,100			財政融資	0.900%	10年	2年
合併特別事業債	1,917,900	425,900	792,900				
まちづくり交付金事業(限府地区)(繰越分)	5,400			銀行等引受	0.868%	15年	3年
限府小学校耐震事業(繰越分)	2,600			銀行等引受	1.380%	10年	2年
洒水中央線道路改良事業(繰越分)	7,200			銀行等引受	0.868%	15年	3年
総合体育館空調及びトップライト改修工事(繰越分)	180,100			銀行等引受	0.821%	20年	3年
防災施設整備事業	32,900			銀行等引受	0.600%	5年	1年
光ブロードバンド整備事業	178,600			銀行等引受	0.714%	10年	2年
旭志大迫集会所トイレ改修工事	3,900			銀行等引受	0.714%	10年	2年
安全安心な学校づくり交付金事業	537,500	4,300	533,200	銀行等引受	0.714%	10年	2年
地域グリーンニューディール基金事業	73,600	4,000	69,600	銀行等引受	0.714%	10年	2年
単県道路事業負担金	10,500			銀行等引受	1.450%	15年	3年
まちづくり交付金事業(限府中央地区)	229,600	188,400	41,200	銀行等引受	0.732%	15年	3年
文化会館屋上防水工事	13,100			銀行等引受	0.732%	15年	3年
道路整備事業	264,700	224,000	40,700	銀行等引受	1.450%	15年	3年
地域連携推進事業(道路)	133,700			銀行等引受	1.450%	15年	3年
老人福祉センター整備事業	9,500	2,800	6,700	銀行等引受	0.732%	15年	3年
七城リバーサイドパーク施設改良事業	80,700			銀行等引受	0.732%	15年	3年
限府小学校体育館耐震推進事業	50,400			銀行等引受	0.732%	15年	3年
限府小学校屋外プール改修事業	103,900	2,400	101,500	銀行等引受	0.732%	15年	3年
臨時地方道整備事業債	14,200						
ふるさと農道・林道緊急整備	14,200			機構	1.100%	15年	3年
辺地対策事業債	165,900	129,900	10,400				
道路及び渡船施設	140,300	129,900	10,400	財政融資	0.900%	10年	2年
農道及び林道	11,600			財政融資	0.900%	10年	2年
消防施設	14,000			財政融資	0.900%	10年	2年
臨時財政対策債	950,647						
臨時財政対策債	950,647			財政融資・機構	1.200%	20年	3年
一般会計 計	3,147,847	567,700	806,300				
簡易水道事業債	97,700						
統合簡易水道事業(補助)	53,700			財政融資	1.90	28年	3年
統合簡易水道事業(補助)	44,000			地方公営企業金融	2.00	30年	5年
下水道事業債	964,000		55,700				
公共下水道事業	94,700		14,200	財政融資	2.10	30年	5年
〃(平成20年度繰越分)	46,100			財政融資	2.10	30年	5年
〃	71,300		24,300	機構	2.00	28年	5年
〃(平成20年度繰越分)	37,900			機構	2.00	28年	5年
〃(資本費平準化債)	220,000			菊池地域農協	0.78	20年	3年
〃(特別措置分)	44,600			菊池地域農協	0.84	20年	3年
特定環境保全公共下水道事業	59,800		9,500	財政融資	2.10	30年	5年
〃(平成20年度繰越分)	3,200			財政融資	2.10	30年	5年
〃	48,200		7,700	機構	2.00	28年	5年
〃(平成20年度繰越分)	1,900			機構	2.10	28年	5年
〃(平成20年度繰越分・臨時特利)	400			機構	2.10	28年	5年
〃(資本費平準化債)	110,000			肥後銀行	0.72	20年	3年
特定地域生活排水処理施設整備事業	22,700			財政融資	2.10	30年	5年
農業集落排水施設整備事業(資本費平準化債)	130,000			菊池地域農協	0.82	20年	3年
〃(A借換債)	12,300			菊池地域農協	1.10	7年	—
〃(B借換債)	60,900			菊池地域農協	1.20	10年	—

6.財政用語解説

【形式収支】

形式収支＝歳入決算額－歳出決算額

形式収支は、出納閉鎖期日現在における当該年度中に収入された現金と支出された現金の差額を表示したものである。

【実質収支】

実質収支＝（歳入決算額－歳出決算額）－翌年度へ繰り越すべき財源

実質収支は、形式収支から事業繰越等に伴い翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた額であり、いわゆる発生主義の要素を加味して財政収支の結果をとらえたものである。

これは、当該年度に属すべき収入と支出の実質的な差額いわば地方公共団体の純剰余または純損失を意味するものであり、財政運営の状況を判断するポイントとなる。

【単年度収支】

単年度収支＝当該年度の実質収支－前年度の実質収支

当該年度（単年度）のみの実質的な収入と支出の差額を意味する。

区分	前年度の実質収支が黒字の場合	前年度の実質収支が赤字の場合
単年度収支が黒字	新たな剰余が生じた	過去の赤字の解消
単年度収支が赤字	過去の剰余金を喰う	赤字額の増加

【実質単年度収支】

実質単年度収支＝単年度収支＋基金積立金＋地方債繰上償還額－基金取崩額（基金＝財政調整基金）

実質単年度収支は、単年度収支に当該年度に措置された黒字要素（財政調整基金積立金、繰上償還）または赤字要素（積立金取崩）を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようになったか検証するものである。

【実質収支比率】

実質収支比率＝実質収支額÷標準財政規模×100（％）

実質収支の額の適否を判定する指標であり、標準財政規模に対する実質収支額の割合で示される。実質収支が黒字の場合の比率は正数で赤字の場合は負数で表わされる。標準財政規模のおおむね3～5％程度が望ましいといえる。

【経常収支比率】

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費に充当された一般財源の額}}{\text{経常一般財源の額}} \times 100\%$$

財政構造の弾力性を判断するための指標である。人件費・扶助費・公債費などの経常経費に、地方税、普通交付税等を中心とする経常一般財源がどの程度使われたかを表す比率で、この比率が低いほど一般財源が豊かで、財政構造が弾力性に富んでいることを示す。

都市では	75%～80%未満	妥当である	80%以上	弾力性を失いつつある
------	-----------	-------	-------	------------

【標準財政規模】

標準財政規模＝（基準財政収入額－地方譲与税－交通安全対策特別交付金）×100／75
＋地方譲与税＋交通安全対策特別交付金＋普通交付税

地方公共団体の標準的な状態で通常収入されるであろう経常一般財源の規模。

【公債費負担比率】

$$\text{公債費負担比率} = \frac{\text{公債費充当一般財源}}{\text{一般財源総額}} \times 100\%$$

公債費負担比率は、財政構造の弾力性を判断する指標であり、公債費に充当された一般財源の一般財源総額に占める割合を表す比率である。率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示す。公債費には、繰上償還や一時借入金利子にかかるものも含まれる。15%が警戒ライン、20%が危険ラインとされている。

【公債費比率】

$$\text{公債費比率} = \frac{\text{元利償還金} - (\text{元利償還充当特定財源} + \text{災害復旧等に係る基準財政需要額算入公債費})}{(\text{標準税収入額} + \text{普通交付税}) - \text{災害復旧等に係る基準財政需要額算入公債費}}$$

地方債の元利償還金が適量かどうかをみて、地方債発行の適正を判断する指標。公債費に充てられる一般財源の額が、標準財政規模に対しどの程度の割合を示しているかを表す比率で、財政構造の弾力性を判断するうえで、重要なものである。この比率が10%を越さないことが望ましいとされる。

【起債制限比率】

$$\text{起債制限比率} = \frac{\text{元利償還金} - \text{元利償還充当特定財源} - \text{基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正基準財政需要額算入公債費}}{\text{標準財政規模} - \text{災害復旧等に係る基準財政需要額算入公債費} - \text{事業費補正基準財政需要額算入公債費}}$$

地方債の許可制限に係る指標として地方債許可方針に規定されたものである。現在起債制限比率の制限ラインは、20%とされており、制限ラインを超えると一部の地方債が許可されない。

20%以上30%未満	一般単独事業・厚生福祉施設整備事業	30%以上	一般事業
------------	-------------------	-------	------

【実質公債費比率】

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{元利償還金} + \text{公営企業元利償還金への一般会計繰出金}) - (\text{元利償還金等の特定財源} + \text{普通交付税の基準財政需要額算入公債費})}{\text{標準財政規模} - \text{普通交付税の基準財政需要額算入公債費}}$$

平成18年4月に地方債制度が「許可制度」から「協議制度」に移行したことに伴い導入された財政指標であり、公債費による財政負担の程度を示すもの。従来の「起債制限比率」に反映されていなかった公営企業（特別会計を含む）の公債費への一般会計繰出金、PFIや一部事務組合の公債費への負担金、債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの等の公債費類似経費を算入している。

- 18%以上の団体・・・地方債の発行に国の許可が必要
- 25%以上の団体・・・一般事業等の起債が制限

【財政力指数】

当該団体の財政力（体力）を示す指標である。基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年の平均値を示す指標である。〔1〕に近くまた〔1〕を超えるほど財源に余裕があるものといえる。

【基準財政収入額】

普通交付税の算定に用いるもので、地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態で見込まれる税収入を一定の方法で算定したものである。

【基準財政需要額】

普通交付税の算定に用いるもので、地方公共団体が合理的、かつ、妥当な水準で行政を行うための財政需要のうち、一般財源で賄うべき額を一定の方法で算定したものである。

【自主財源と依存財源】

自主財源とは、地方公共団体が自らの権限で収入しうるものを指し、依存財源とは、国や県の意思決定に基づき収入されるものをいう。

※自主財源・・・地方税、分担金及び負担金、使用料及び手数料
財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入

※依存財源・・・地方譲与税、地方交付税、国県支出金、地方債

【義務的経費】

支出が義務づけられている経費で、人件費・扶助費・公債費が該当する。

【投資的経費】

公共施設建設・道路改修等将来的に残るものに支出される経費で、普通建設事業、災害復旧事業があげられる。

【債務負担行為】

建設工事等で土地を購入する場合など、数年度にわたり債務を負担する行為につき、その行為の内容を定めておくもの。

【地方債】

道路改良・住宅建設等の資金調達のために借りるお金である。

【積立金（基金）】

財政運営を計画的にするため、又は財源の余裕がある場合において特定の支出目的のため、年度間の財源変動に備え積立てるものをいう。

【自動車重量譲与税】

自動車重量譲与税法は国税として昭和46年12月1日から施行され、その収入の1/3に相当する額が自動車重量譲与税として市町村に譲与されます。

その目的は、市町村の道路整備（新設、改良、維持等）に関する費用に充てるためである。

譲与基準は、毎年4月1日現在の市町村道の延長及び面積に按分して配分される。

譲与時期は6月・11月・3月である。

【地方道路譲与税】

地方道路譲与税法は国税として昭和30年に創設され、同税は、揮発油に対して課税され全額地方公共団体に譲与される。

地方道路譲与税額の58/100に相当する額は、都道府県及び指定市に対し、42/100に相当する額は、市町村に対し譲与される。

その目的は地方道の整備に要する道路目的財源の充実を強化するためである。

譲与基準は、毎年4月1日現在の市町村道の延長及び面積に按分して配分されます。

譲与時期は6月・11月・3月である。

【利子割交付金】

昭和62年度税制改革に伴い、都道府県民税に利子割が創設された。利子等並びに金融類似商品の収益に対して5%の利子課税がされる。利子割総額の2/5相当額を都道府県とし、3/5相当額が市町村に交付される。

交付時期は8月・12月・3月である。

【地方消費税交付金】

地方消費税交付金は都道府県税として平成9年4月1日から施行され、税率については消費税額の25%であり、消費税率で換算すると1%となる。
都道府県において清算を行った金額の1/2に相当する額が市町村に交付される。地方分権の推進・地域福祉の充実等のための地方財源の確保を目的としている。
交付基準は市町村の人口（国調）と従業者数（事業統計）で按分して交付される。
交付時期は6月・9月・12月・3月である。

【ゴルフ場利用税交付金】

昭和41年娯楽施設利用税（ゴルフ、パチンコ、麻雀、たまつき場）が創設された。
都道府県税が、消費税導入に伴い課税対象施設をゴルフ場のみとし、ゴルフ場利用税と改められた。その目的は、ゴルフ場周辺の道路整備・雨水による流出土砂整理等の財政需要の増加に対応するためである。
標準税率は、800円/1人であり、制限税率は、1,200円/1人である。
交付基準は道府県が収納したゴルフ場利用税額の7/10で交付される。
交付時期は8月・12月・3月である。

【自動車取得税交付金】

自動車取得税は、都道府県が道路に関する費用に充てるため自動車の取得者に対して課税する目的税である。
課税標準は取得価格であり、軽自動車及び営業用自動車は3/100、その他の自動車は5/100の税率である。
道府県は、市町村の道路財源強化のため、自動車取得税額に95%を乗じた額の7/10相当額を市町村に交付する。
交付基準は、市町村道の延長及び面積に按分して交付される。
交付時期は、8月・12月・3月である。

【交通安全対策特別交付金】

交通安全対策特別交付金は、道路交通法の反則金の収入相当額等から取り扱い手数料等を控除した額を、地方公共団体における道路交通安全施設の設置及び管理に要する経費に充てるために、国から地方公共団体に対して交付される。
交付基準は、当該団体の過去2年間の交通事故（人身）発生件数と人口集中地区人口を用いて、都道府県、指定市、市町村の別に算定・配分される。
充当事業は、単独事業で、歩道・横断歩道・道路標識・さく・街灯・自転車道路・歩行者専用道路・道路情報提供装置等の設置及び管理に要する経費に充てるものである。
交付時期は、9月・3月である。